

保育園自己点検・自己評価

評価実施日：令和2年3月24日

評価については、A:達成できた B:ほぼ達成できた C:一部改善を要する D:改善を要する の4段階で評価する

	評価項目	評価				職員19名
		A	B	C	D	
(1) 園の組織と運営に関すること						
1	職員の共通理解のもと、自園の全体的な計画を明確にし、児童・保護者・地域の実態や実情に応じた保育目標となっているか。	14	5			指針を基に、全体的な計画を見直し、保育目標などの読み合わせをして共通理解をして保育を行っている。
2	明確な目標をもって職員会議が運営され、職員の共通理解のもと、機能的に組織・運営がなされているか	15	4			毎月事前にクラス、リーダーミーティングを行っている。一人ひとりが意見、考えをもち参加できるようにしている。
3	事故等緊急事態に対する安全対策及び、対応マニュアルの整備がなされているか。	11	7	1		各クラスにマニュアルを保管。日々チェックリストをもとに園内外を点検し必要な箇所は修繕している。研修で学んだ事は園内研修で取り入れ必要に応じて改善していった。
4	保育目標や方法等を共通理解し、組織的な園内研究の推進に努めているか。	11	8			園内研修では体力づくりを課題に各クラス取り組んだ。また、園外研修で学んだことを実践し保育の質の向上に努めた。
(2) 保育内容とその展開に関すること						
1	各年齢ごとの重点目標を明確にし、具現化した保育課程の編成・実施がなされているか。	14	4	1		各年齢ごとの保育目標、年間計画等の編成実施がなされている。
2	全体的な計画を見通した道徳性の芽生えを培う保育や、幼児期にふさわしい知的発達等を促す教育が推進されているか。	13	5	1		日々の保育の中でその都度大事なことを伝えている。
3	幼児の実態や育ちをとらえ、ねらいや内容を設定し、計画的に実践しているか。	15	4			年間計画、月案、週案に沿って保育をおこなっている。
4	一人一人の子どもの心に寄り添い、良さを認め伸ばす、きめ細やかな指導に努めているか。	14	5			一人ひとりを受け止めスキンシップをはかり子どもの個性や良さを伸ばす関わりを心がけている。
5	幼児にとって主体的な生活態度や創造性な思考を促すような、魅力ある環境構成がなされているか。	11	5	3		遊びや生活の中で環境を工夫しながら主体性を持って過ごせるようにしていった。
(3) 健康管理・食事に関すること						
1	登園時や保育中の子どもの健康管理は、子ども一人一人の健康状態に応じて実施しているか	17	2			登園時における保護者とのやり取りや視診を通して一人ひとりの健康状態に応じた健康管理を行っている。
2	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映されているか	14	5			健康診断の伝達を行い保育に反映している。保護者から質問があれば嘱託医からアドバイスをもらい伝えている。
3	感染症の対応については、発生の状況が必要に応じて保護者、全職員に連絡しているか	16	3			発生時や感染児童が増えた場合は掲示板や口頭で保護者・全職員に情報を伝えている。
4	アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っているか	14	5			医師の診断のもと適切な対応を行っている。アレルギーボードの活用、食事の内容、配膳等についても常に確認しながら行っています。
5	子どもが食事を楽しむことが出来るように工夫していますか	12	4	3		行事食を取り入れたたり畑で育てた野菜を収穫してクッキングを行い皆で楽しく食べる環境づくりを行った。

(4) 保育環境に関すること

1	保育室・遊戯室・園庭等は保育士の創意を生かした環境整備が行われているか	13	4	2	各クラス担任が環境整備を行い遊戯室、廊下、園庭等は全職員でアイデアを出し合い工夫をした。
2	幼児がイメージを広げたり刺激されたりする素材や遊具等の環境が工夫され、活用できているか	11	5	3	年齢に応じた玩具を各クラスに配置し活用し楽しんだ。年長クラスに置いてはカプラを購入し個人の作品から共同の作品へとイメージを膨らませ、活用する事ができた。
3	職員が協力して園地・園舎の整備・管理に当たり、定期的に点検を行っているか	11	7	1	委員会の中で毎月の担当を決め点検を行っている。年2, 3回程保護者も一緒に園庭整備をおこなっている。
4	地域の自然環境や公共施設を把握し、有効に活用しているか	12	5	2	近隣の公園へ散歩に行ったり園外保育を行ったり消防署、デイケアなどの訪問を実施。
5	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているか	10	8	1	過ごす部屋や玩具等を変えたり内容を工夫している朝、夕のミーティングで子どもの様子を報告し保護者へ伝えている。
6	障害児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているか				

(5) 子育て支援に関すること

1	一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか	13	5	1	毎年、クラス懇談会や個人面談を計画して行っている。また、登降園時に情報交換も行い保護者とコミュニケーションを取っている。
2	家庭状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されているか	12	7		個人面談報告書、児童票などに記録している。

(6) 家庭や地域との連携に関すること

1	小学校と定期的に交流したり、保育内容や児童・幼児等の理解を行ったりしているか	10	7	2	保幼小連絡会に参加したり近隣小学校の事業参観の見学を行ったり、小学校からの情報を保護者へ伝えている。
2	保護者や外部評価等の意見を取り入れ、保育活動に生かしているか	10	8	1	行事の後にアンケートを実施したり園内にはご意見箱を設置している。
3	保育を公開したり、地域の行事に参加したりして、保護者や地域住民の理解や協力を得て、開かれた保育園づくりを行っているか	13	6		毎月の誕生会では保護者の見学、保育参加、行事への参加、保護者作業、地域のお祭りなどに参加をして園で取り組んでいるエイサーや和太鼓などを披露している。

(7) 安全確保への取り組みに関すること

1	あらゆる場面を想定しての危機管理体制の共通理解が図られているか	13	6		避難訓練の内容の見直しや予告なしの訓練や夕方保護者も一緒に訓練を行ったりしている。また、避難後には防災食の試食も行った。
2	外部からの侵入に対する対策がとられているか	10	8	1	不審者訓練では外部からの侵入の対策について話し合い、さすまた・竹ぼうきを使用しての対応を実施して行った。
3	幼児に見知らぬ人や挙動不審な人に出会った際の対応について指導されているか	11	6	2	日々の保育の中で紙芝居や絵本等の教材などを使用して見知らぬ人への対応について話している。
4	警察等との連携を図り、地域パトロールや情報交換の協力をお願いしているか	11	5	3	おもしろまち交番の方がパトロールを実施。また、パトカーの試乗も行い警察の方との交流も行う事ができた。
総評	・健康管理、食事に関してはアレルギー除去児童に対しての配膳方法を工夫した。クッキングも取り入れ楽しい食事時間を過ごせるようにしていった。保育環境においては子ども達が自ら考え楽しむことができるように工夫が必要である。危機管理、安全面においては噛みつきや小さなケガを防ぐ方法や不審者対応についてさらに学んでいく。				